

近代

第14章 近代の産業と生活 2. 近代文化の発達 (1) 教育の普及

大学を創設した鳥取県人 — 岸本辰雄と奥田義人 —

明治大学の創設者 岸本辰雄



鳥取県立公文書館前

岸本辰雄 (1852. 11. 8-1912. 4. 4)

明治時代の法律家。鳥取藩士の子。明治9年司法省初の留学生としてフランスに留学(宮城浩蔵・小倉久の3人)。帰国後、大審院判事などを経て弁護士となる。この間の明治14年に明治法律学校を創設し、21年に初代校長、36年明治大学に改組後は初代学長に推され、45年死去するまで務めた。司法省明法寮卒。

【明治大学創立メンバー】

岸本辰雄(1852-1912 鳥取藩)
宮城浩蔵(1852-1893 天童藩)
矢代 操(1853-1891 鯖江藩)

中央大学の創設者 奥田義人



鳥取県立図書館内

奥田義人 (1860. 6. 14-1917. 8. 21)★

明治・大正時代の官僚、政治家。農商務省に入り、拓殖務、農商務、文部の次官をつとめる。明治36年衆議院議員(当選2回)。大正2年第一次山本内閣の文相、翌年法相。4年東京市長。明治18年英吉利法律学校の創設にかかわり、大正3年校長。貴族院議員。東京大学卒。

【中央大学創立メンバー】

増島六一郎・高橋一勝・岡山謙吉高橋健三・岡村輝彦・山田喜之助・菊池武夫・西川鉄次郎・江木衷・磯部醇・藤田隆三郎・土方寧・奥田義人・穂積陳重・合川正道・元田肇・渡辺安積・渋谷健爾ら 18人

解説

明治初年以來、政府は、大学は官立に限る方針をとっていたが、1902(明治35)年から一定年限以上の予科をもつ私立専門学校に対して、大学と称することを許し、さらに1918(大正7)年公布の大学令で財団法人による大学設立を認め、正式に大学を認可した。これにより多くの私学が積年の悲願であった大学昇格をめざしたが、多額の供託金や教員・施設設備等の要件の厳しさのため、1945(昭和20)年時点でも27校の私大が存在したのにとどまった。

■高等教育機関一覧(1940年時点)

私立大学	應義塾大学(1920)	龍谷大学(1922)	日本医科大学(1926)
	早稲田大学(1920)	大谷大学(1922)	高野山大学(1926)
	明治大学(1920)	専修大学(1922)	大正大学(1926)
	法政大学(1920)	立教大学(1922)	東洋大学(1928)
	中央大学(1920)	立命館大学(1922)	上智大学(1928)
	日本大学(1920)	関西大学(1922)	関西学院大学(1932)
	国学院大学(1920)	拓殖大学(1922)	藤原工業大学(のちの慶応大学工学部)(1939)
	同志社大学(1920)	立正大学(1924)	
	東京慈恵会医科大学(1921)	駒沢大学(1925)	
		東京農業大学(1925)	
公立大学	京都府立医科大学(1921)、大阪商科大学(1923)		
帝国大学	東京帝国大学(1886)	新潟医科大学(1922)	東京工業大学(1929)
	京都帝国大学(1897)	岡山帝国大学(1922)	神戸商業大学(1929)
	東北帝国大学(1907)	千葉医科大学(1923)	東京文理科大学(1929)
	九州帝国大学(1910)	金沢医科大学(1923)	広島文理科大学(1929)
	北海道帝国大学(1918)	長崎医科大学(1923)	神宮皇学館大学(1940)
	大阪帝国大学(1931)	熊本医科大学(1929)	
	名古屋帝国大学(1939)	東京商科大学(1920)	

鳥取県人創設の大学…

女子美術大学、金城大学、大阪音楽大学、駿河台大学など

(担当：小山富見男)

参考資料

- ・岡田朋治『嗚呼奥田博士』(1922年)
- ・明治大学校友会鳥取県支部『岸本辰雄と明治大学』(2006年)
- ・加来耕三『明治大学を創った三人の男』(2019年)
- ・明治大学校友会鳥取県支部『明治大学創立者岸本辰雄』(2016年)

★の写真は教育活動以外での無断利用や転載を禁止します。